



茨城県筑西市に新航空博物館誕生 国立科学博物館所有の 重要航空資料の一般公開に向けて

茨城県筑西市のザ・ヒロサワ・シティ（会長・廣澤清）内に新たに設置される「科博廣澤航空博物館」において、国立科学博物館（館長・林良博）が大切に保管してきた貴重な航空資料を本年中に一般公開します。

【概要】

名称：科博廣澤航空博物館

場所：ザ・ヒロサワ・シティ [茨城県筑西市ザ・ヒロサワ・シティ（別添地図参照）]

開館時期：令和3年（時期未定）

展示される主な重要航空資料

シコルスキー S-58 (HSS-1)



1959（昭和34）年に南極に残されていたカラフト犬「タロ」「ジロ」を救出。1964（昭和39）年から、海上保安庁で海難救助や海上公害監視、海上交通指導などに使用され、1973（昭和48）年に国立科学博物館に移管。

電建号



戦後、日本での航空再開がなった1952（昭和27）年に日本グライダー倶楽部によるグライダー公開飛行大会が行われ飛行した。日本電建（株）がスポンサーになって製作し「電建号」と命名された。

ストーク B



1976年12月31日、海上自衛隊下総基地で飛行時間の世界記録を樹立。

零式艦上戦闘機



2020年7月まで上野本館で展示。
ラバウルで戦時中に2機の破損した機体を使って複座としたもの。偵察などで使用。

YS-11 量産初号機



撮影：青木勝

我が国航空機製造事業の期待を一身に受けた量産初号機(製造番号2003)である。機体登録番号はJA8610と、YS-11全機中一番若い番号を与えられている

【本件問い合わせ先】

◆独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：稲葉 祐一

産業技術史資料情報センター長：鈴木一義

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8984

E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

別添: ザ・ヒロサワ・シティ地図



アクセス

【車】常磐自動車道・谷和原ICから国道294号で約45分
 北関東自動車道・桜川筑西I.C.から国道50号で約15分
 首都圏中央自動車道・常総ICから国道294号で約35分

【電車】JR水戸線「下館駅」北口下車、タクシーで10分
 関東鉄道常総線、真岡鉄道「下館駅」南口下車、
 タクシーで10分

ザ・ヒロサワ・シティ案内図



科博廣澤航空博物館